



**「神奈川・横浜リフレッシュプログラム」
2012年報告書**

福島子ども・こらっせ神奈川

後援

檜葉町教育委員会

横浜市こども青少年局

横浜市教育委員会

(財) 神奈川県高等学校教育会館

謝辞

神奈川・横浜リフレッシュプログラム成功裡に終了できました ご支援・ご協力有難うございました

福島の子どもたちを支援しようと設立された「福島子ども・こらっせ神奈川」は、初めての企画として「神奈川・横浜リフレッシュプログラム」を計画・実施しました。立案・実施に当たっては、不手際なこともありました。多くの皆様のご理解とご協力により、無事終了できましたことを大変うれしく思っています。有難うございます。

実施に当たっては、榑葉町教育委員会・横浜市青少年局、横浜市教育委員会、などの後援を頂くと共に榑葉中学、榑葉北小学校、榑葉南小学校のご理解を頂きました。また学生・市民・諸団体・企業のご理解ご協力をも頂きました。皆様に深く御礼申し上げます。

参加してくれた子どもたちは、小学生16名中学生18名の計34名でした。子どもたちには、きっといろいろなクエストもあったと思いますが、帰り際には“楽しかった”“また来たい”と言ってくれました。帰宅してから避難生活が続くという厳しい現実の中で、そう言ってくれたのかなと思うと、私たちの責任の重さを感じます。

今回のプログラムの点検・評価を行ったうえで、来年に向けての新たなプログラムの準備を進めたいと思っています。引き続きのご支援をよろしくお願い致します。

福島子ども・こらっせ神奈川
代表 山際正道

開催まで

3.11以後、私たちスタッフは子どもの未来を守りたいという思いに突き動かされて、それぞれの場で活動を重ねてきました。福島の子どもたちを招いて神奈川でリフレッシュプログラムを実施したいという思いを抱きながらも、なかなか実現できず、もどかしさを感じていました。私たちが出会い、動き出したのは今年の初め、その後、実施まで30回ほどのスタッフ会議を開き、4月には「福島子ども・こらっせ神奈川」を正式に立ち上げました。

スタッフの合意は、①福島の特定の学校の子どもたちを招きたい、②行政との協力関係を構築し将来は「移動教室」を目指す、③少なくとも3年間は継続するというものでした。しかし、経験もなく財政的基盤もなく、あるのは人とのつながりだけです。まず宿泊施設探して四苦八苦。5月半ばに横浜市の施設が抽選で決まった後、福島現地との連絡、後援のお願い、資金集め、プログラムの確定、参加者募集、ボランティア募集と目まぐるしく日々が過ぎて行きました。

幸いにも榑葉町教育委員会の後援をいただくことができ、榑葉っ子も募集して1週間後には定員に達しました。資金のめどもつき、多数の方が協力を申し出てくださいました。想定外のことも次々と起きましたが、その度ごとにスタッフ一同、知恵を絞って乗り切り、どうにか開催にこぎつけることができました。人のつながりに感謝です。

日程とカリキュラム

日程：2012年8月7日（火）から11日（土）

場所：横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター

参加者：楢葉っ子34名（小学5・6年生16名 中学1・2年生18名）

8・9・10日のカリキュラム

6:30	起床
7:15~8:00	朝食+うちあわせ
8:30~11:30	学習
11:30~12:30	昼食
	フィールドワーク
19:00	夕食
20:00~21:45	自由時間・イベント（希望者）・入浴
22:00	消灯



8月7日（火）



10時半 いわき出発

楢葉っ子が避難生活を送るいわき市は広～い。3カ所の集合場所に集まった。みんな大きな荷物、何がはいつているのかな。

2時半 宿泊する三ツ沢公園野外活動センターに到着
はじめまして！ 神奈川・横浜へようこそ！



おやつを食べてから入所式

自己紹介。迎えるほうもみんなドキドキ。
楽しんでもらえるかな

ピザを石窯で焼きました

薪をわって生地を練って、やっと焼けます。三ツ沢公園で遊んだ子も



ウェルカムディナー

食事ボランティアの方々が安全な食材を使って料理してくれました

「バランスがとれていて、とてもカラフルでおいしかったです」



ホールでのスポーツ

毎日、時間があればホールでスポーツ。この日の夜は大学生のお兄さん・お姉さんとビンゴ大会をしました。景品はもらったのかな



8月8日 (水)

午前中は学習の時間

学習中です

神奈川・横浜の先生たち、大学生が教えてくれました。個人教授のようなぜいたくさ。宿題はできたかな。みんなは、算数・数学が苦手らしい



中華街のレストラン「彩鳳」(サイホウ)で昼食完食したのでお店の人はとっても喜んでいました
「メチャうまかった」



グループに分かれて、横浜散策



あかいくつ号

3コース（Aコクリコ坂コース、B横浜港コース、C赤レンガ倉庫コース）をつくったけれど、女の子は全員、赤レンガコースに行きました

マリントワー

大学生は人気者
「大学生がみんな最高！でした」



赤レンガ

横浜グッズ、いろいろあったね！

山手地区

水遊びは、冷たくて爽快



横浜大栈橋

くじらの背中から横浜港一望



8月9日（木）

フィールドワークは鎌倉への歴史探訪

北鎌倉円覚寺

「和を感じ、落ち着きがありました」



ざぜん

特別に座禅をしていただきました

「とちゅう、足がしびれてしまったけれど、いい経験になった」

「たたいてもらえました」

「ざぜんで、おちついたからよかった」



大仏

「大きくてびっくりした」
「思ったより小さかった」
大仏は大きい派と小さい派に分かれました
「大仏様の中が印象的でした」



江ノ電

鎌倉→長谷→藤沢まで移動しました



8月10日（金）



**みなとみらい地区を中心に
近代都市・横浜を楽しみました**

恐竜展

「いろいろな恐竜が見れて、うれしかったです」

みなとみらいで買い物

女の子はやはりショッピング好き



ランドマークタワー

「てんぼうだい最高でした」

三菱技術館

興味津津

「もっといたかった！」



みなとみらいの町並み
建物が船の形につくられているよ



横浜で過ごす最後の夜です
あっというまだったね



フェアウエルパーティ
おなかいっぱいになったかな

キャンプファイアー
「おもしろかった、あラッキーさん ありがとう」
「あラッキーさん」は荒木先生なんだけれど



8月11日 (土)



退所式

さよなら、またね



ただいま。家路につきました



榎葉っ子の感想から



「学習などが楽しかったです。また、遊びに来たいです」

「みんなと楽しく過ごせてよかった！！また来たいなー」

「榎葉とは違う横浜の環境にふれることができ楽しかったです！また、来たいです。4日間ありがとうございました！」

「いままでできなかったことがたくさんできたので良かったです。勉強もできて、久々に榎葉のともだちに会えて楽しかったです」

「たくさんの人と話ができよかった」

「鎌倉に行ったり、鬼ゴッコをしたり、楽しかったです。お店でおみやげやアイスを食べました。また、横浜にきたいです」

「すごく楽しくて、また、遊びに来たい。また、皆に会いたい!!」

「みんなと仲良くできたので良かったです」

「めちゃくちゃ楽しい4泊5日でした。また、こういう計画をつくって欲しいです。友達、サイコー！みんな、ありがと」

「楽しかった。ポーッとするひまもなく、今までないくらい笑っていた」

「またきたーい」

「みなさんが僕たちを見守ってくれたので無事に終わり、うれしかったです。本当にありがとう」

「神奈川に来て榎葉の友達に久しぶりに会えてとてもよかったし、神奈川のいろいろな名所に行けてとても楽しかったです」



「神奈川・横浜リフレッシュプログラム」
収支報告書

《収入》

賛同金	2,538,000
寄付金	62,710
榎葉っ子からの保険金	34,000
収入合計	2,634,710

《支出》

宿泊施設利用費	63,140
送迎バス関係費	355,160
ボランティア・その他交通費	287,910
食費・飲料費	423,541
フィールドワーク・イベント費	82,540
プログラム傷害保険費	54,600
広報費・通信・事務局関連費	202,043
雑費	24,431
次期積立金	1,000,000
今後の報告関連費	141,345
支出合計	2,634,710

(8月31日現在)

●来年も継続するこのプログラムに賛同してください

賛同金：個人一口3,000円 団体一口10,000円

郵便振替 口座名称：福島子ども・こらっせ神奈川

口座番号：00270-7-101155

賛同して下さった方々には、お知らせをお届けしますので、振り込み用紙にはメールアドレス・住所を明記してください。



ご支援・ご協力いただいた方々

WE21ジャパン／江の島電鉄株式会社／円覚寺／神奈川県教職員組合／神奈川県高等学校教職員組合／高徳院／相模鉄道労働組合／彩鳳／シティアクセス株式会社／日本郵船氷川丸／長谷公会堂／三菱みなとみらい技術館／横浜市教職員組合／ヨコハマ恐竜展2012実行委員会／横浜マリントワー／ランドマークタワー・スカイガーデン事務局／ピッピ親子サポートネット（50音順）

賛同団体

一枚のハガキ上映会／神奈川県教職員組合／神奈川県高等学校教職員組合／神奈川県高等学校教職員組合シニア運動／神奈川ネットワーク運動青葉／神奈川ネットワーク運動宮前／太田治代後援会／神奈川平和遺族会／（財）神奈川県高等学校教育会館／相模鉄道労働組合／市民自治をめざす神奈川の会／週間金曜日を応援する会神奈川／進化論研究会／ZENKOかながわ／全造船機械労組いすゞ自動車分会／NPO法人WE21ジャパンこうほく／NPO法人WE21ジャパン藤沢／NPO法人ピッピ親子サポートネット／横浜市教職員組合／ワーカーズコレクティブ・はっぴいず／ワーカーズコレクティブ・ピッピキッチン／ワーカーズコレクティブ・森のはらっば（50音順）

個人賛同協力者

阿部賢治／安西香取／池庄司恵子／石川直子／石川敦子／石川寿美／石原啓子／磯道静香／一色由紀子／伊藤英雄／岩本千歳／梅津弘子／梅原真理子／遠藤初美／及川謙司／太田治代／大野普佐子／角田キヨコ／角田行男／加藤伸子／門屋慎一／金子文夫／神田光枝／木村吉夫／木村陽子／工藤妙子／国井哲男／久保新一／倉田百合子／高力英夫／小嶋武志／小林のぶゆき／小山立子／坂井信夫／佐々木紀子／佐藤みつ／佐藤茂伸／佐藤公彦／佐藤令子／地代所達也／篠崎佳苗／四宮みどり／渋谷美由紀／霜山恵子／白川真澄／菅原二恵／杉山佳津江／鈴木早苗／鈴木こうろう／鈴木信太郎／高橋祥夫／竹中麻美／田尻下和子／立岡英宏／千村和司／塚本鉄男／土田／戸田真由美／友澤ゆみ子／中川洋一／長澤淑夫／中島康子／長野富喜子／中森圭子／成宮秀子／新川順子／西岡政子／箱守初代／橋本康二／羽立みよ子／蜂谷隆／早川寛／日野彰／檜鼻達美／福島健太郎／藤見睦彦／古河和男／風呂橋修／前田正裕／町田美知子／松田薫／松原ノリ子／三浦紀子／水澤靖子／三宅まり／宮崎徹／三輪純子／向田映子／村上勝彦／森川千鶴／森谷牧子／八島忠義／安田とし子／安田小夜子／柳橋小夜子／山川節子／山西道子／山根徹也／湯浅康子／吉田哲四郎／脇美恵子／渡辺あや子／渡辺さよ子（50音順）

おわりに

プログラムの最中、8月10日に榑葉町が警戒区域を解除となりました。除染をして2年後には帰郷をめざすといえます。8月27日の新学期には、榑葉町の隣町・広野町での学校再開のニュースと同時に、福島の子も3人に1人の割合で甲状腺にしこりが見つかったとNHKが報じました。故郷に帰りたい人、帰れない人、帰らなければならない人、福島の現実複雑です。私たちにできることは本当に小さなことですが、子どもたちの未来のために寄り添って歩んでいこうと、榑葉っ子の顔を思い浮かべています。最後に、100人以上のボランティアのご協力と、100人以上の賛同人・団体の財政的ご支援でプログラムを終えることができたことに心からお礼を申し上げます。

事務局長・遠野はるひ



「神奈川・横浜リフレッシュプログラム」2012年報告書

発行日 2012年10月10日

編集・発行 「福島子ども・こらっせ神奈川」

TEL: 045-353-9008 FAX: 045-353-9998

Email: info@korasse-kanagawa.org

スタッフ

小山千鶴子 遠野はるひ 錦織順子

藤井あや子 山際正道 若林智子

写真／橋本康二 表紙／森谷牧子 制作／tortuga